

千葉県環境審議会水環境部会（令和4年度第2回）における質問事項と回答について

資料1-2

No	質問事項	回答
1	<p>大腸菌数について、環境基準を達成していない場合、当面の間適用しないとしているが、当てはめを行わなくてよいのか。 現況水質において大腸菌数の環境基準を達成していなくとも、イの「直ちに達成」ではなく、ロの「5年以内で可及的速やかに達成」や、ハの「5年を超える期間で可及的速やかに達成」などの分類にして上位類型に見直してはどうか。（齋藤委員）</p>	<p>令和4年4月から「大腸菌数」の環境基準が適用されたことを受けて、国が現在、大腸菌数について判断基準とするかを検討中であり、来年度中に方針が示される見込みであることから、これを受け改めて見直しを進めてまいります。</p>
2	<p>大腸菌数の測定結果について、水温が非常に効くと思うため、降水量と併せて比較すると良いのではないか。（杉田委員）</p> <p>大腸菌数の測定結果について、流量との関係はどうか。（近藤委員）</p>	<p>都川流域の各測定地点及び葭川の日本橋における大腸菌数と、降水量、水温及び流量との関係について、資料1-3に示します。環境基準点である都川の都橋及び葭川の日本橋における平成30年度から令和4年度の5年間の大腸菌数と降水量、水温及び流量の間には相関が見られませんでした。しかし、令和5年度の測定結果では、降水量及び流量との関係では都川の都橋で弱い相関が見られ、また、水温との関係では、葭川の日本橋で強い相関が見られました。</p>